

准教授 安藤 規泰 / 生体機械システム研究室

主な研究内容と目指す将来像

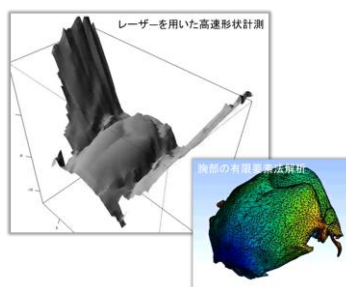
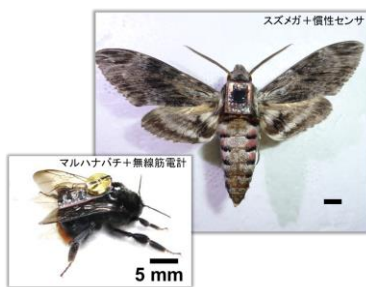
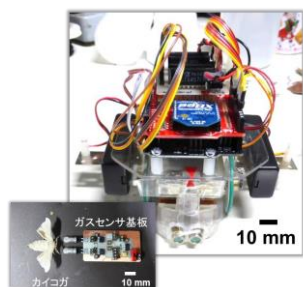
生物の運動や行動のしくみを様々な視点から解明し、「生物らしい動き」を機械で再現することを目指して研究を行っています。生物学の知見を新しいものづくりに結び付け、環境に適応できる機械、そしてヒトと調和できる機械を創造します。

研究キーワード

バイオメカニクス / 神経行動学 / 生物模倣 / ロボット / 昆虫

研究の魅力・面白さ

- ✓ ヒトが作る機械とは異なる進化の歴史を持つ生物は、新しい発想の宝庫です。
- ✓ 生物を調べ、機械を作ることで、生物と機械の違いと共通性に気づくことができます。
- ✓ 誰も知らなかったことを発見し、誰もできなかったことを実現することが研究の一番の魅力・面白さです。



履修しておきたい推奨科目

生体情報工学(2年前期)、電気回路(2年前期)、制御工学(2年後期)、機械工学(2年後期)、電子回路(2年後期)、信号処理(3年前期)

研究室配属希望者へのメッセージ

システム生体工学科で学ぶ幅広い知識は、医療・福祉といったヒトへの応用だけでなく、本研究室のような基礎科学分野にも絶大な威力を発揮します。ぜひ工学を学んで生物を眺めてください。

連絡先

ando@maebashi-it.ac.jp